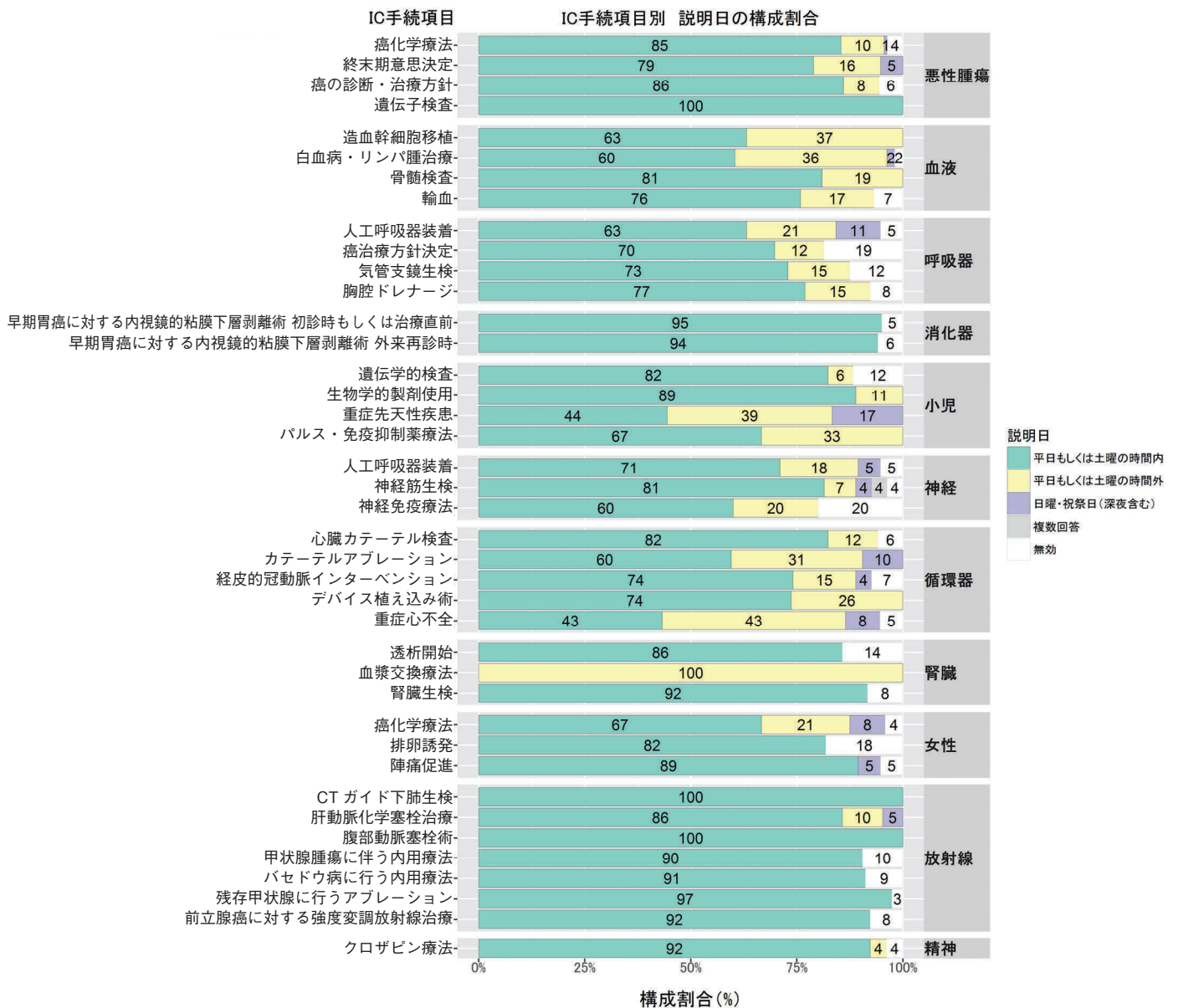


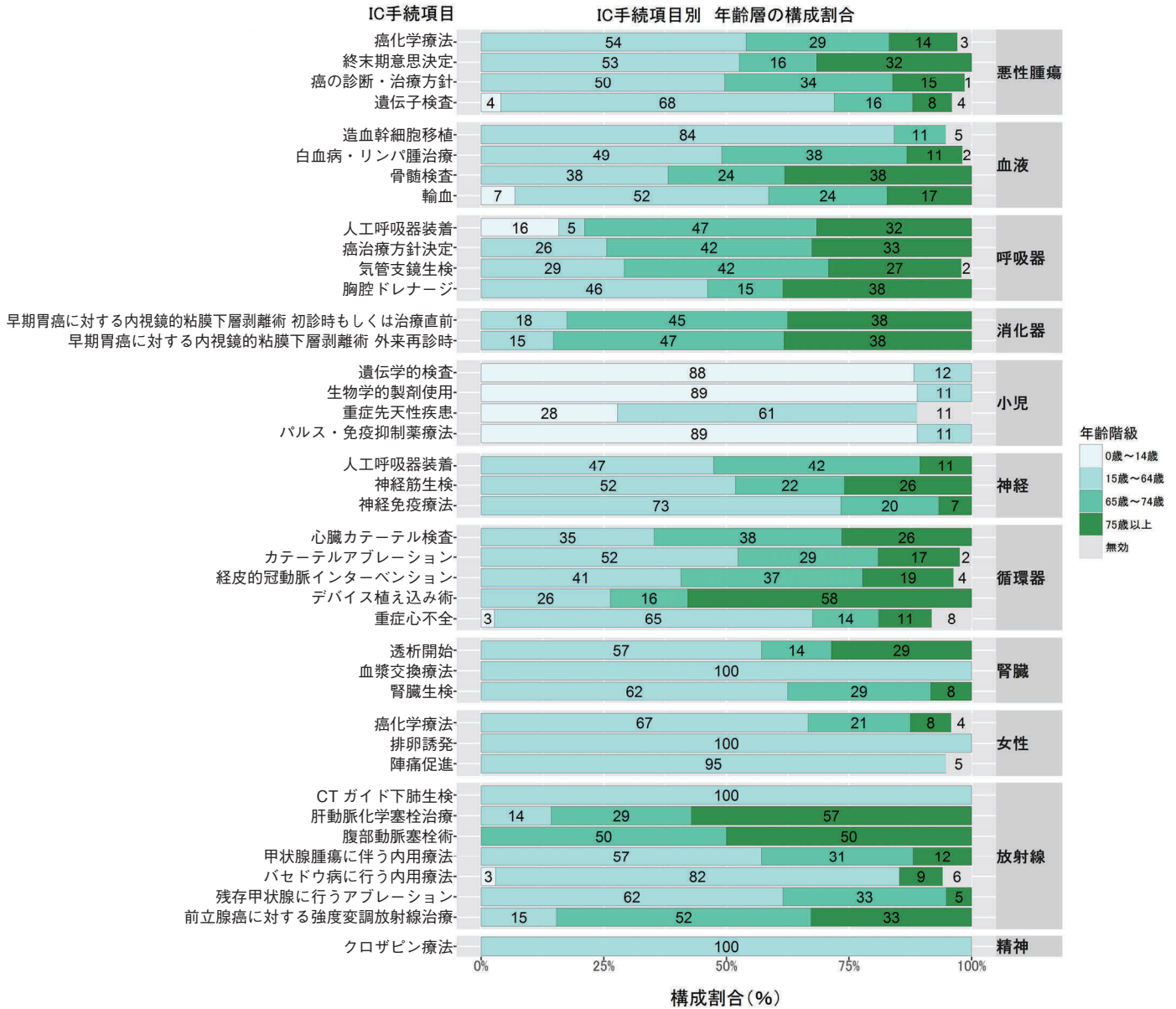
2. IC 手術項目別（領域別）の記述統計

○医師記入票

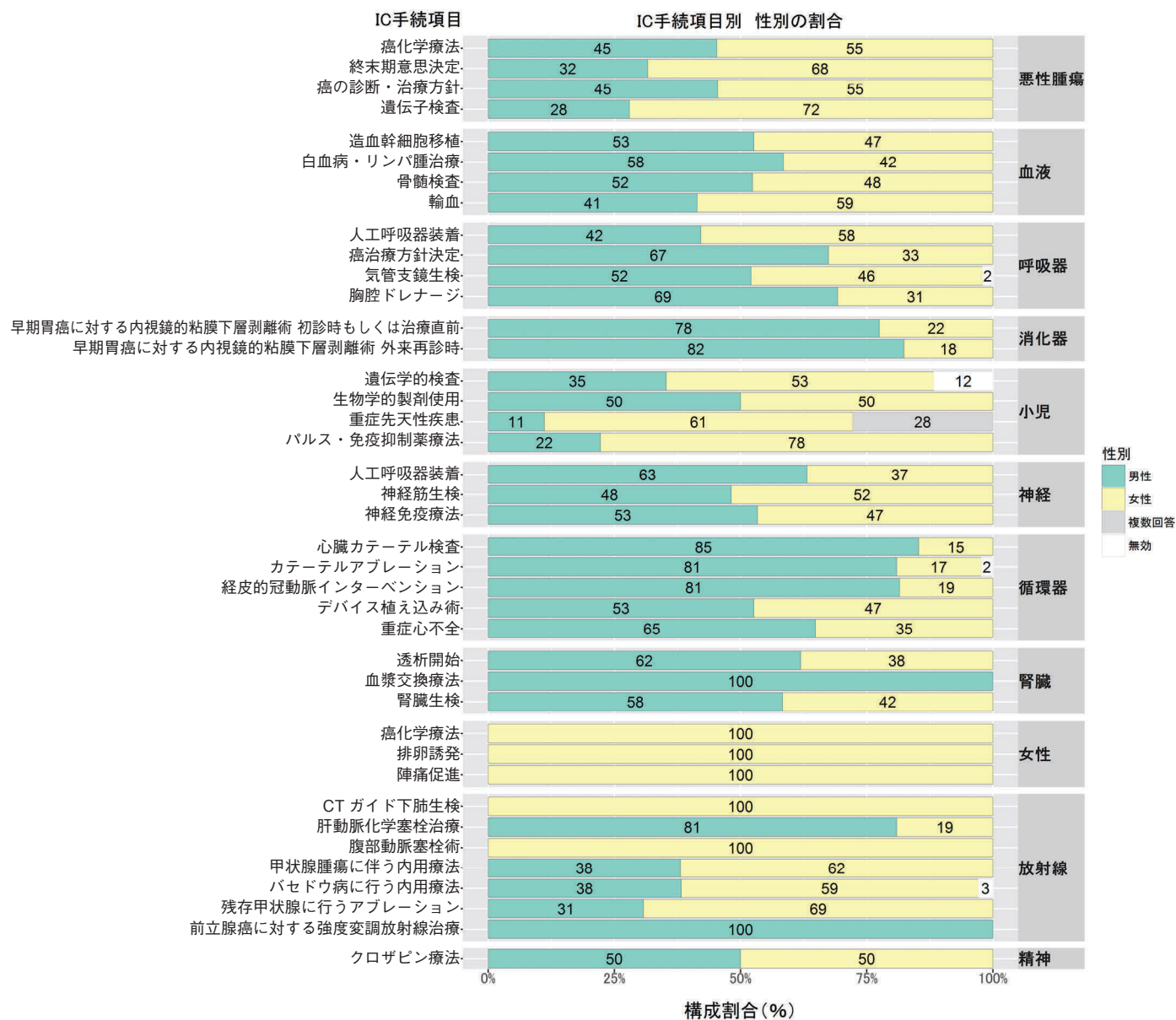
2-1. （問2）説明日の構成割合



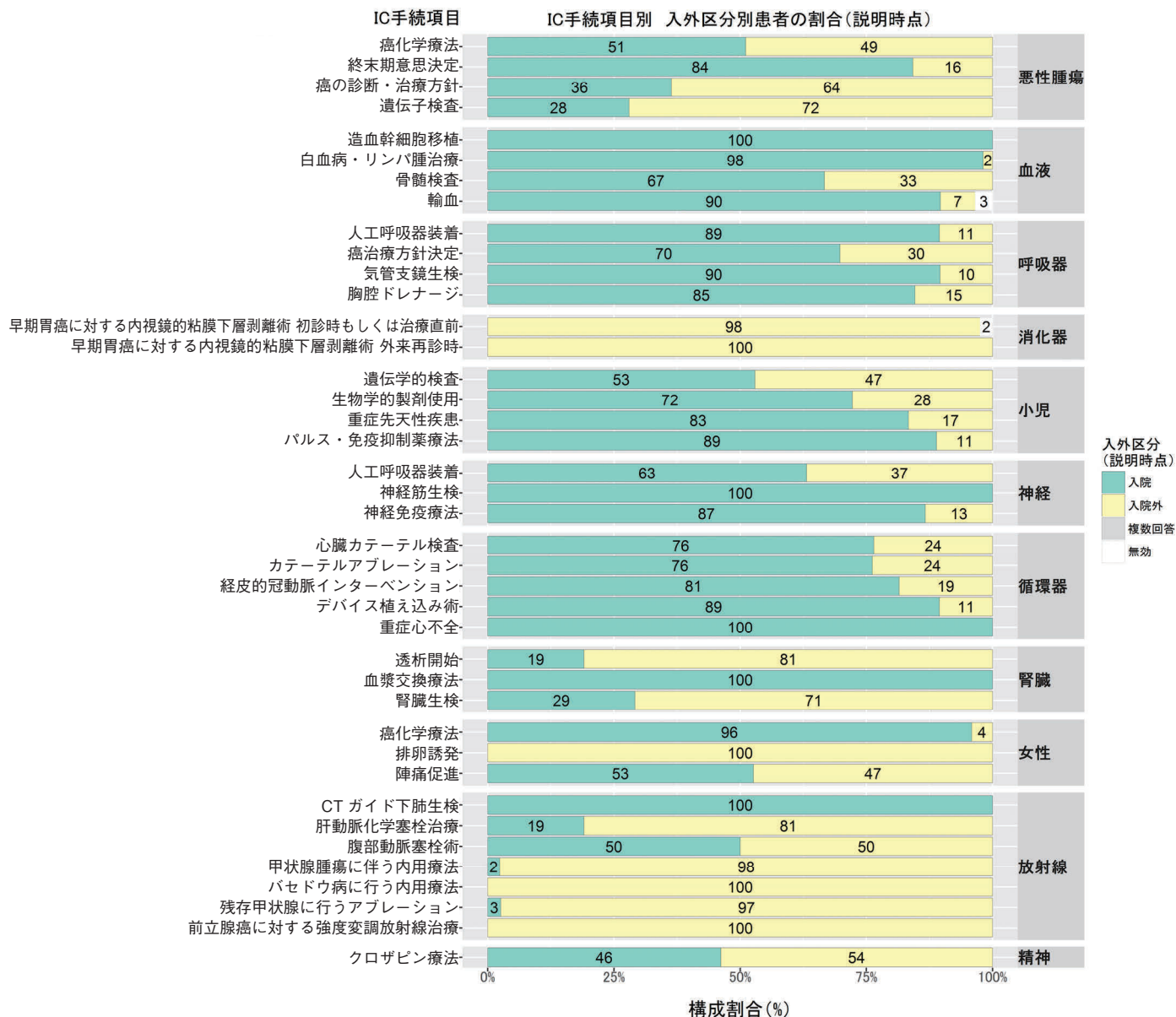
2-2. (問 3-1) 患者の年齢層の構成割合



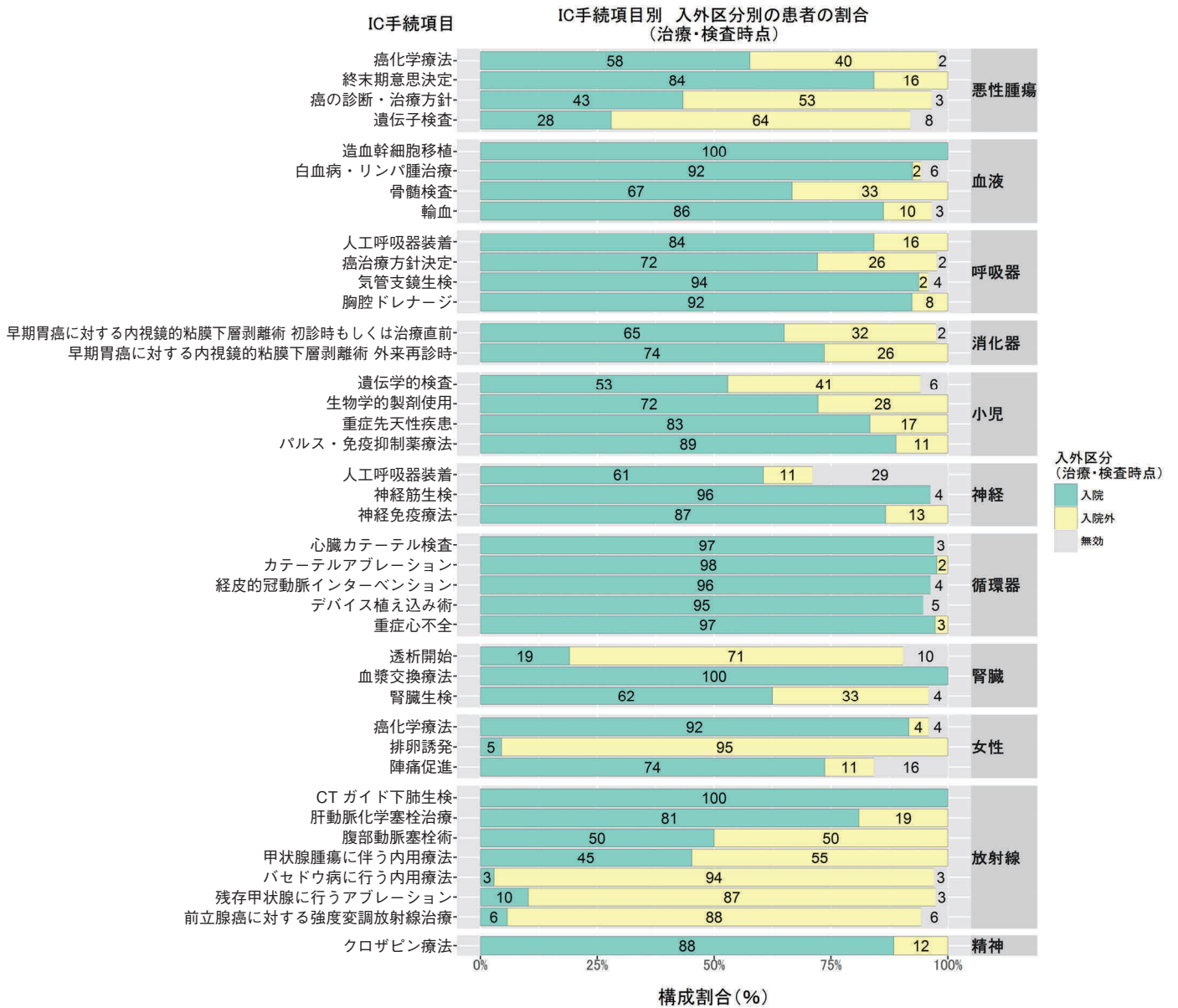
2-3. (問 3-2) 患者の性別の構成割合



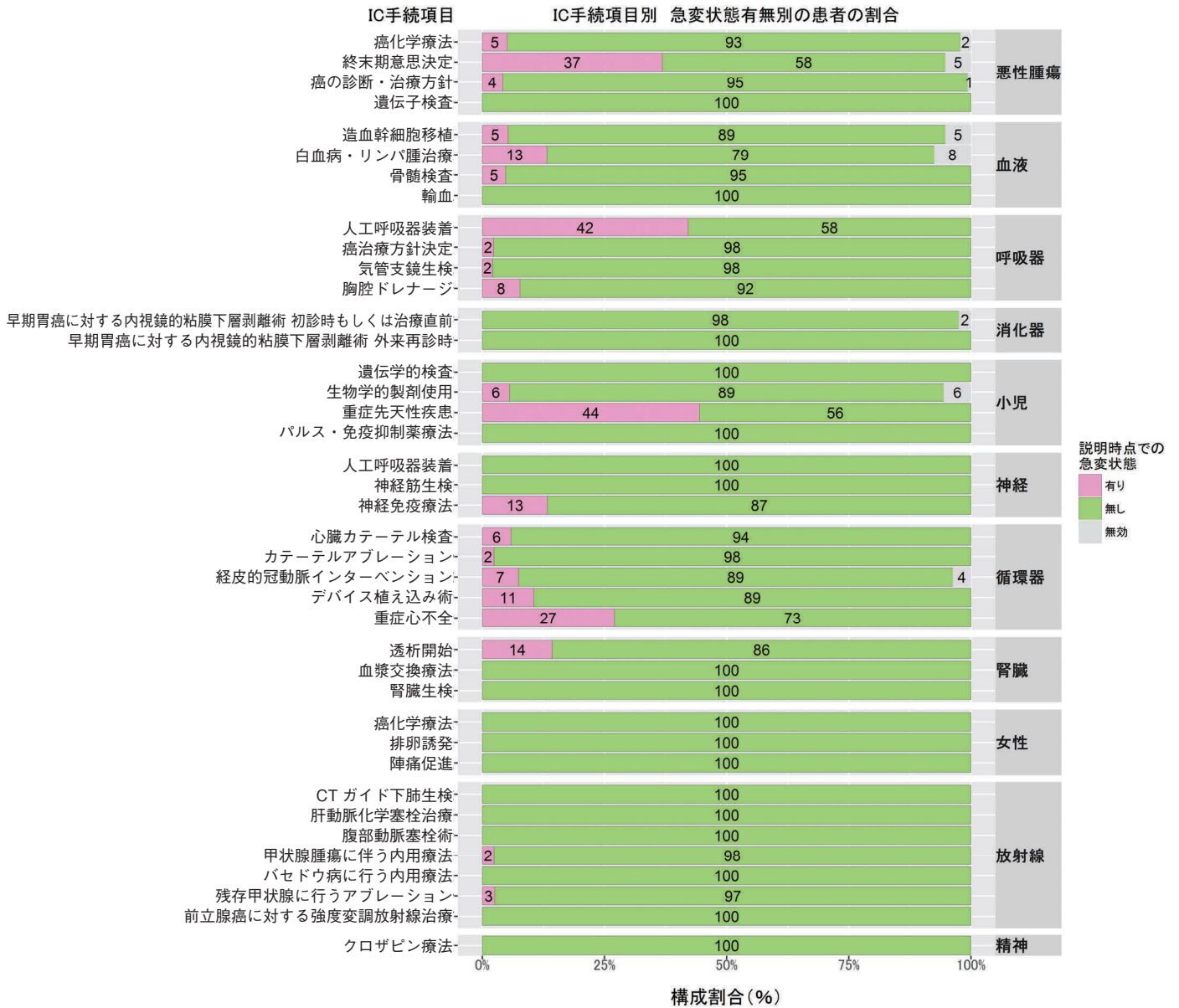
2-4. (問 3-3-1) 入院、入院外患者の構成割合 (説明時点)



2-5. (問 3-3-2) 入院、入院外患者の構成割合 (治療・検査時点)



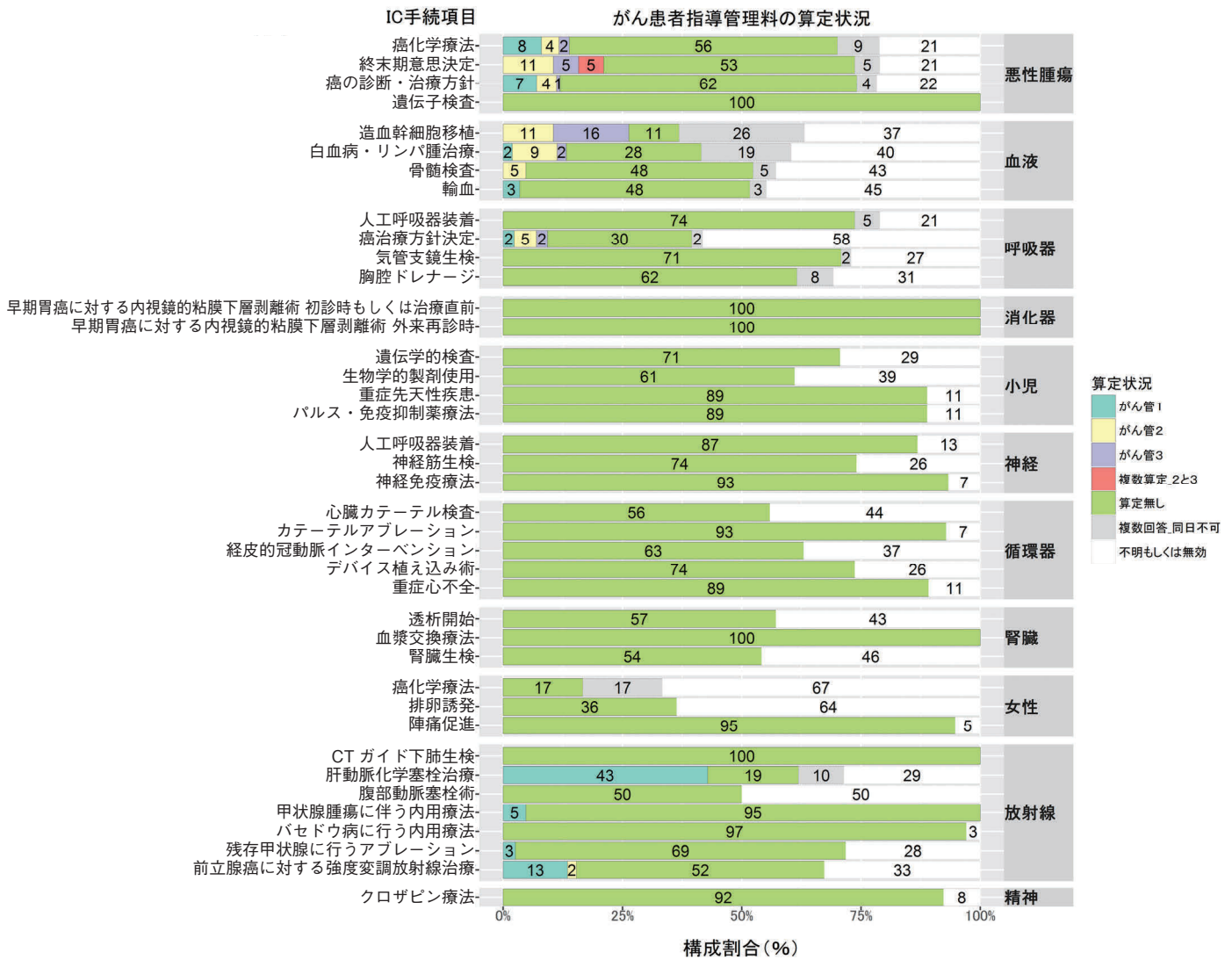
2-6. (問 3-4) 急変状態有無別患者の構成割合



2-7. (問 4-2) 説明した項目の割合

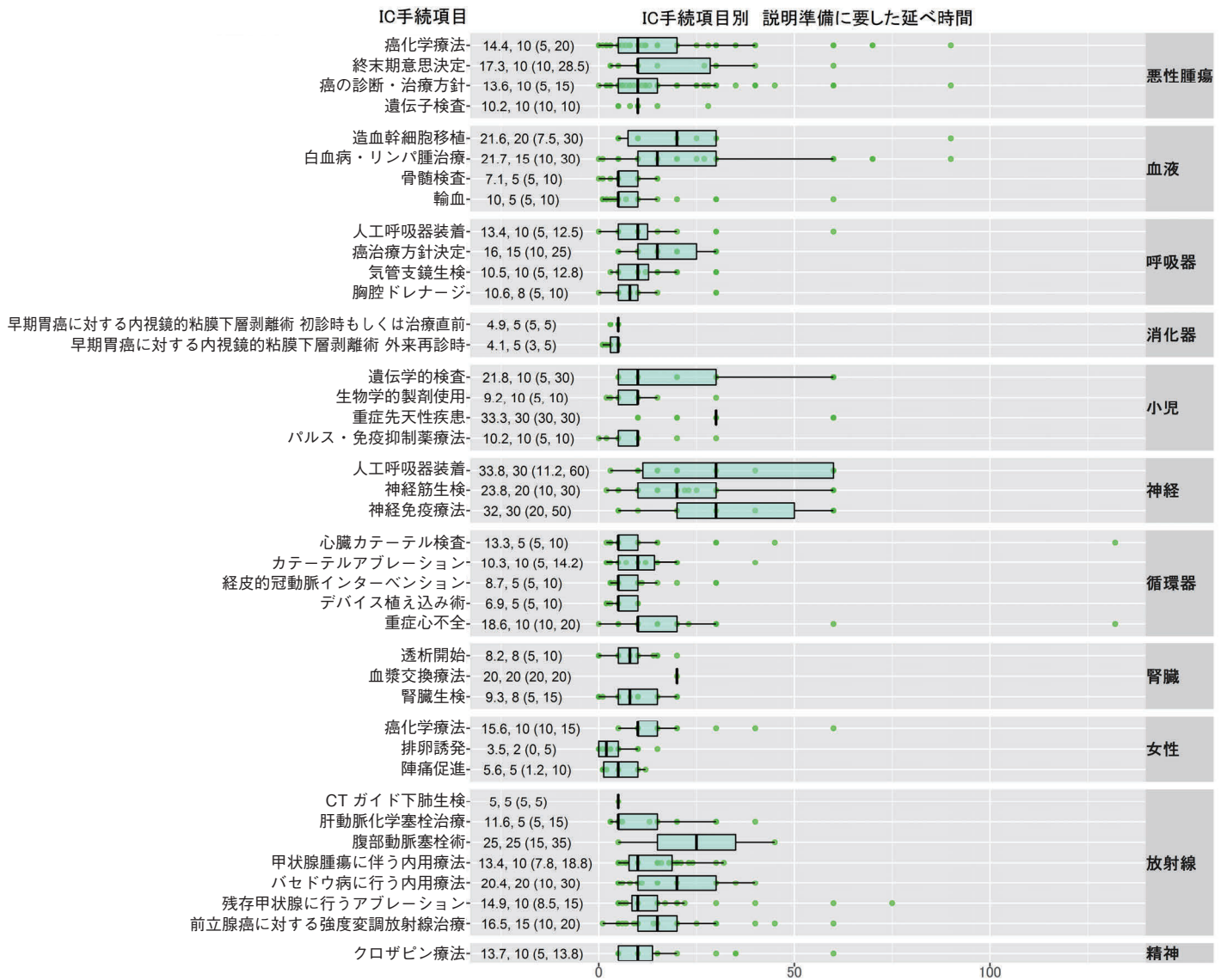
IC手続項目	IC手続項目別 各説明項目の実施割合 (%)									
癌化学療法-	98	91	92	82	92	74	71	28	59	悪性腫瘍
終末期意思決定-	100	63	58	58	53	58	63	0	26	
癌の診断・治療方針-	99	90	95	85	91	75	73	30	62	
遺伝子検査-	68	100	100	100	92	92	88	88	92	
造血幹細胞移植-	100	84	84	63	84	63	74	37	37	血液
白血病・リンパ腫治療-	96	75	79	55	77	43	43	11	26	
骨髄検査-	67	95	90	76	95	62	24	0	48	
輸血-	55	83	76	69	90	66	31	7	24	
人工呼吸器装着-	100	100	100	95	100	89	84	32	63	呼吸器
癌治療方針決定-	100	88	95	74	88	63	58	14	53	
気管支鏡生検-	85	100	96	83	94	67	62	12	67	
胸腔ドレナージ-	100	100	100	92	100	69	62	31	54	
早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術 初診時もしくは治療直前-	100	100	100	100	100	98	98	45	75	消化器
早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術 外来再診時-	100	41	47	41	44	41	24	0	21	
遺伝学的検査-	88	100	82	88	53	59	35	47	53	小児
生物学的製剤使用-	89	78	100	83	83	44	33	44	17	
重症先天性疾患-	100	83	83	89	78	61	22	0	28	
パルス・免疫抑制薬療法-	89	89	100	89	100	44	33	11	11	
人工呼吸器装着-	100	100	100	92	89	84	89	55	66	神経
神経筋生検-	89	100	100	85	100	52	44	30	56	
神経免疫療法-	67	93	93	60	93	33	47	20	53	
心臓カテーテル検査-	100	94	100	85	94	68	59	24	41	循環器
カテーテルアブレーション-	100	100	100	100	100	93	83	19	76	
経皮的冠動脈インターベンション-	89	100	89	93	93	67	56	26	48	
デバイス植込み術-	95	100	100	100	100	95	89	37	79	
重症心不全-	100	97	89	81	81	70	51	35	41	
透析開始-	100	95	100	86	86	62	67	33	24	腎臓
血漿交換療法-	100	100	100	100	100	0	0	100	0	
腎臓生検-	88	96	96	88	92	67	58	12	29	
癌化学療法-	100	92	100	83	100	29	25	0	33	女性
排卵誘発-	95	100	100	100	100	95	100	68	86	
陣痛促進-	100	89	100	100	100	63	11	0	16	
CTガイド下肺生検-	100	100	100	100	100	0	0	0	100	放射線
肝動脈化学塞栓治療-	100	100	100	86	100	86	81	10	71	
腹部動脈塞栓術-	100	50	100	100	100	100	50	0	100	
甲状腺腫瘍に伴う内用療法-	88	100	100	100	100	98	86	69	88	
パセドウ病に行う内用療法-	85	100	100	97	100	100	100	56	97	
残存甲状腺に行うアブレーション-	87	100	100	100	92	85	79	74	69	
前立腺癌に対する強度変調放射線治療-	98	98	100	94	100	75	92	77	67	
クロザピン療法-	92	92	100	96	100	62	54	42	88	精神
1. 現在の病状について										
2. 検査・治療の目的										
3. 検査・治療の方法										
4. 検査を受けることの利益・治療効果										
5. 検査・治療の副作用、合併症、後遺症とその対処法										
6. 今回の検査・治療を受けなかった際の経過										
7. 考えられる代替療法（代替検査）										
8. 検査・治療にかかる費用について										
9. 検査・治療途中での同意撤回について										

2-8. (問 4-3) がん患者指導管理料 (1~3) の算定有無別構成割合¹



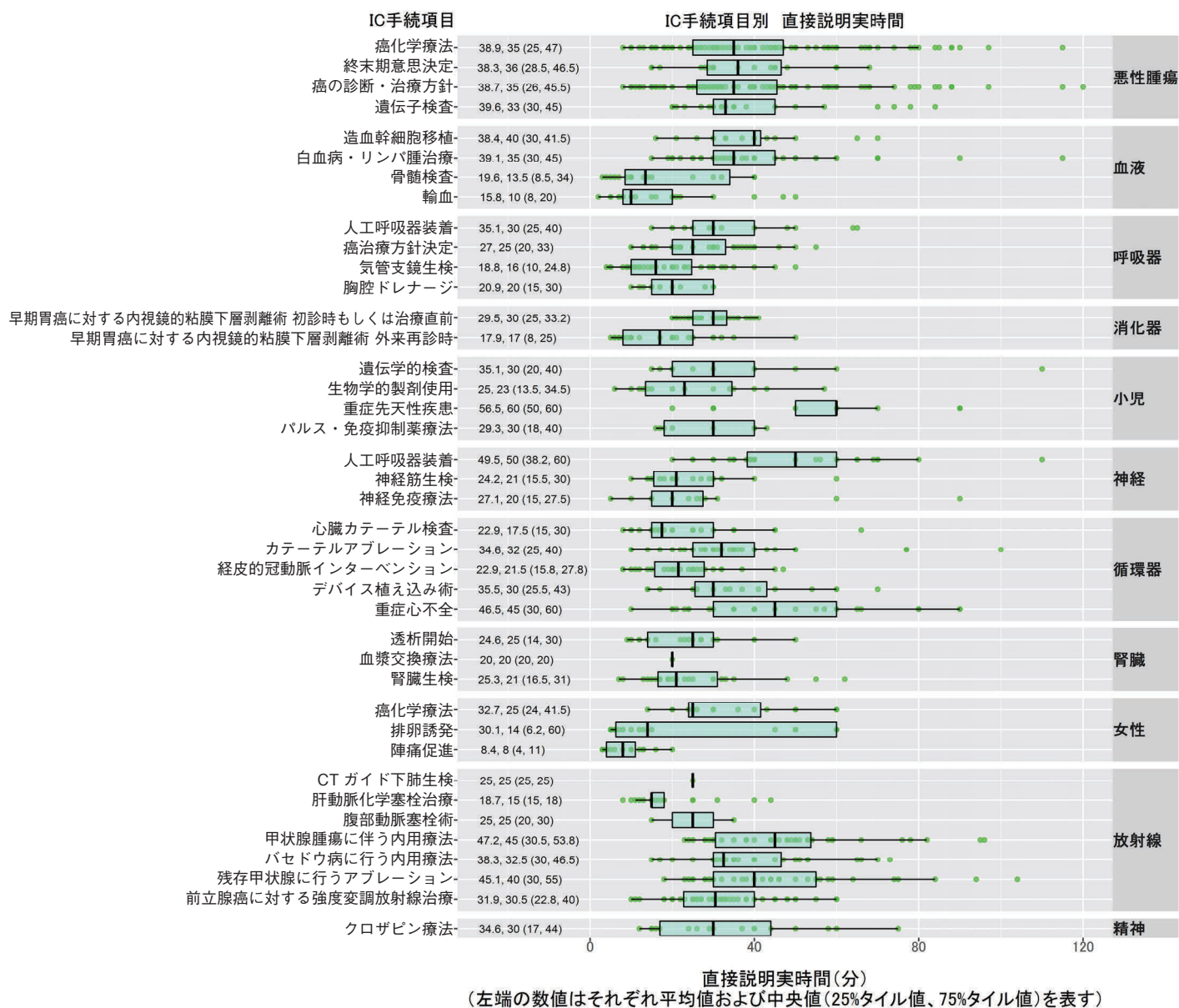
¹ がん患者指導管理料 1 (がん管 1) については、がん患者指導管理料 2 (がん管 2) もしくは 3 (がん管 3) とは同一日に算定できない。がん管 2 及び 3 を同一日に算定することは可能 (診療報酬早見表 (2016 年 4 月版, 医学通信社) より)

2-9. (問 5-1) 説明準備に要した延べ時間の分布

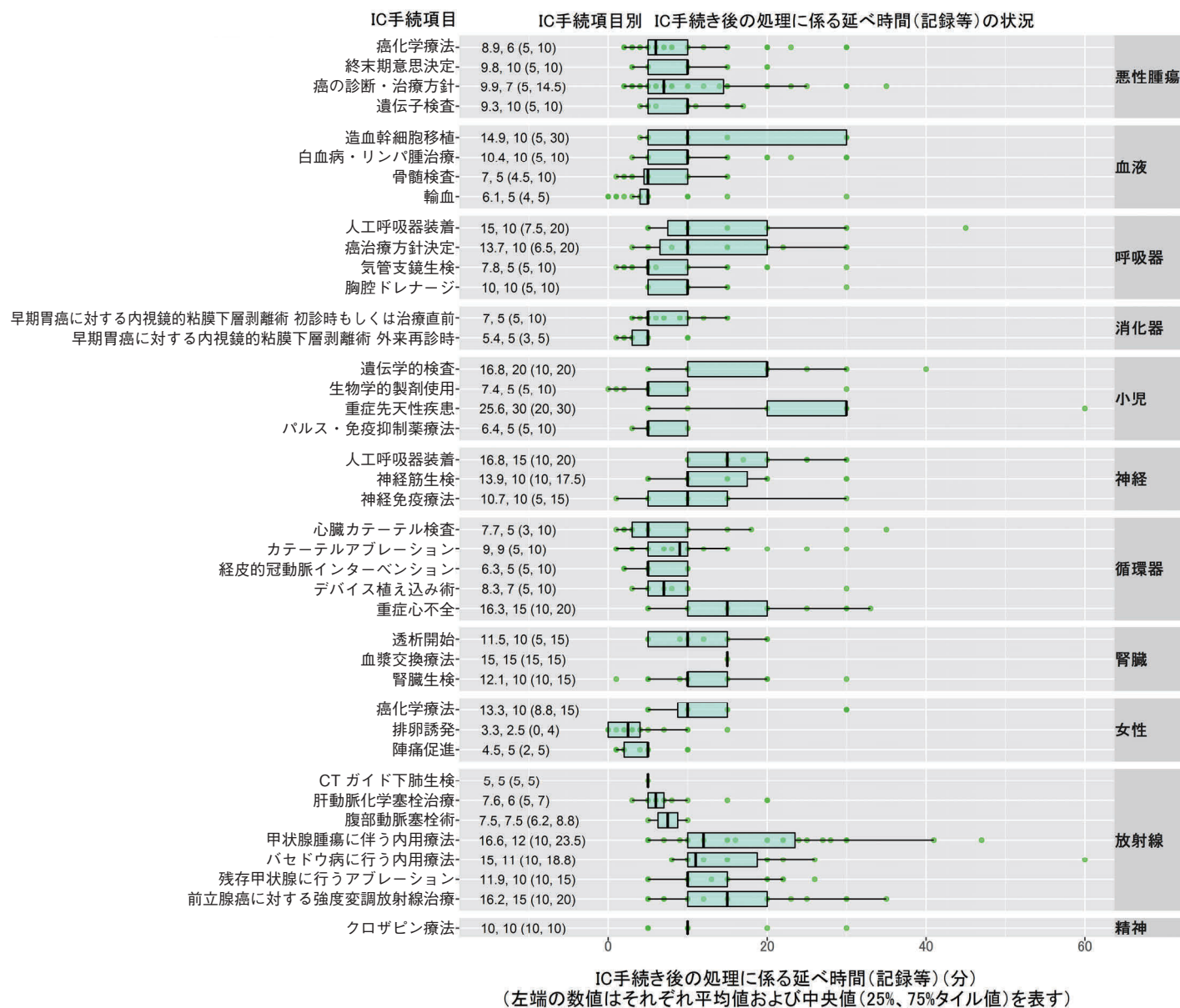


説明準備に要した延べ時間(分)
(左端の数値はそれぞれ平均値および中央値(25%タイル値、75%タイル値)を表す)

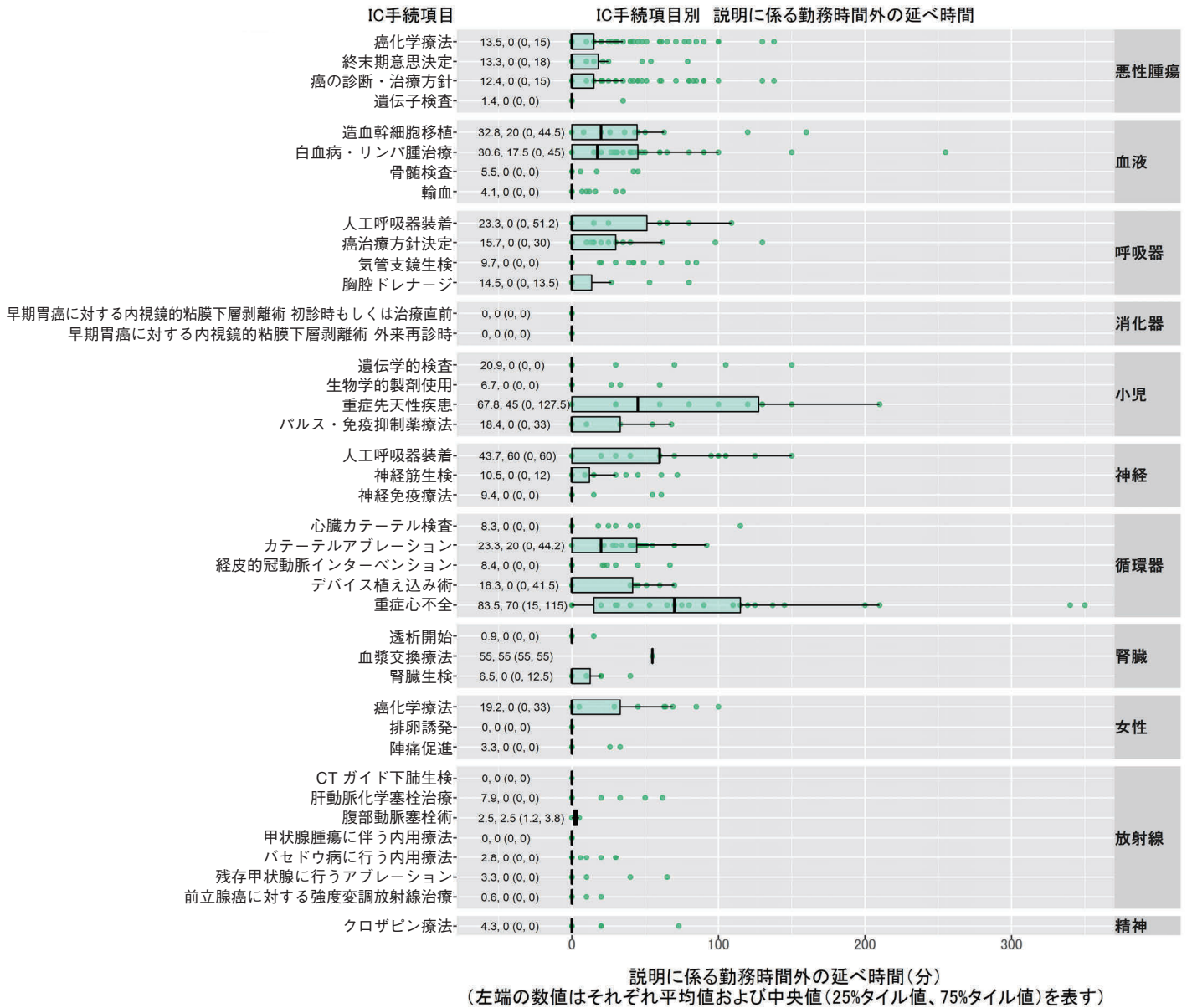
2-10. (問 5-2) 直接説明実時間の分布 (説明終了時刻 — 説明開始時刻)



2-11. (問 5-3) IC 手続き後の処理に係る延べ時間の分布



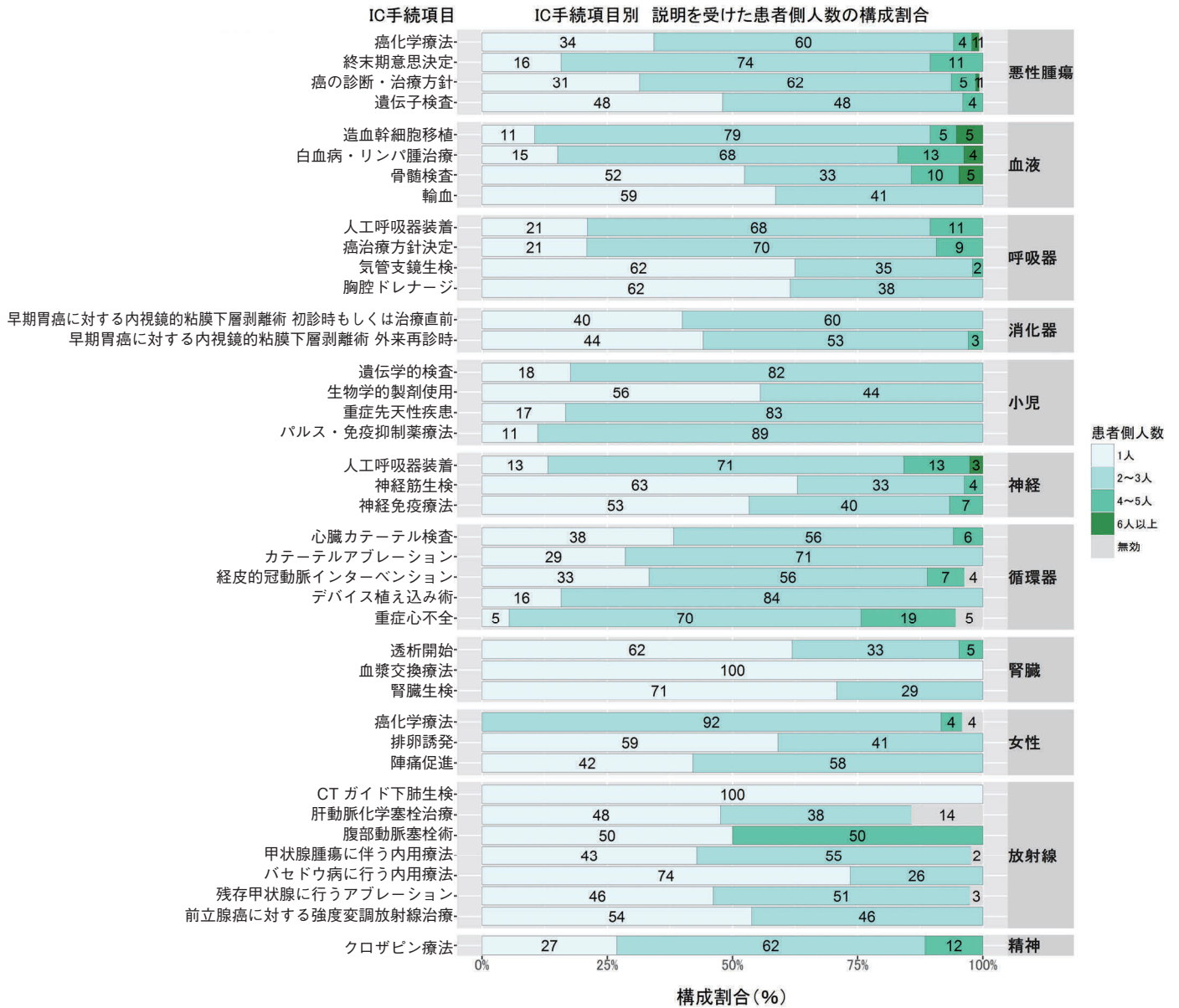
2-12. (問 5-5) 説明に係る勤務時間外の延べ時間の分布



2-14. (問 6-1~6-7) 説明を受けた患者側関係者の種類および割合

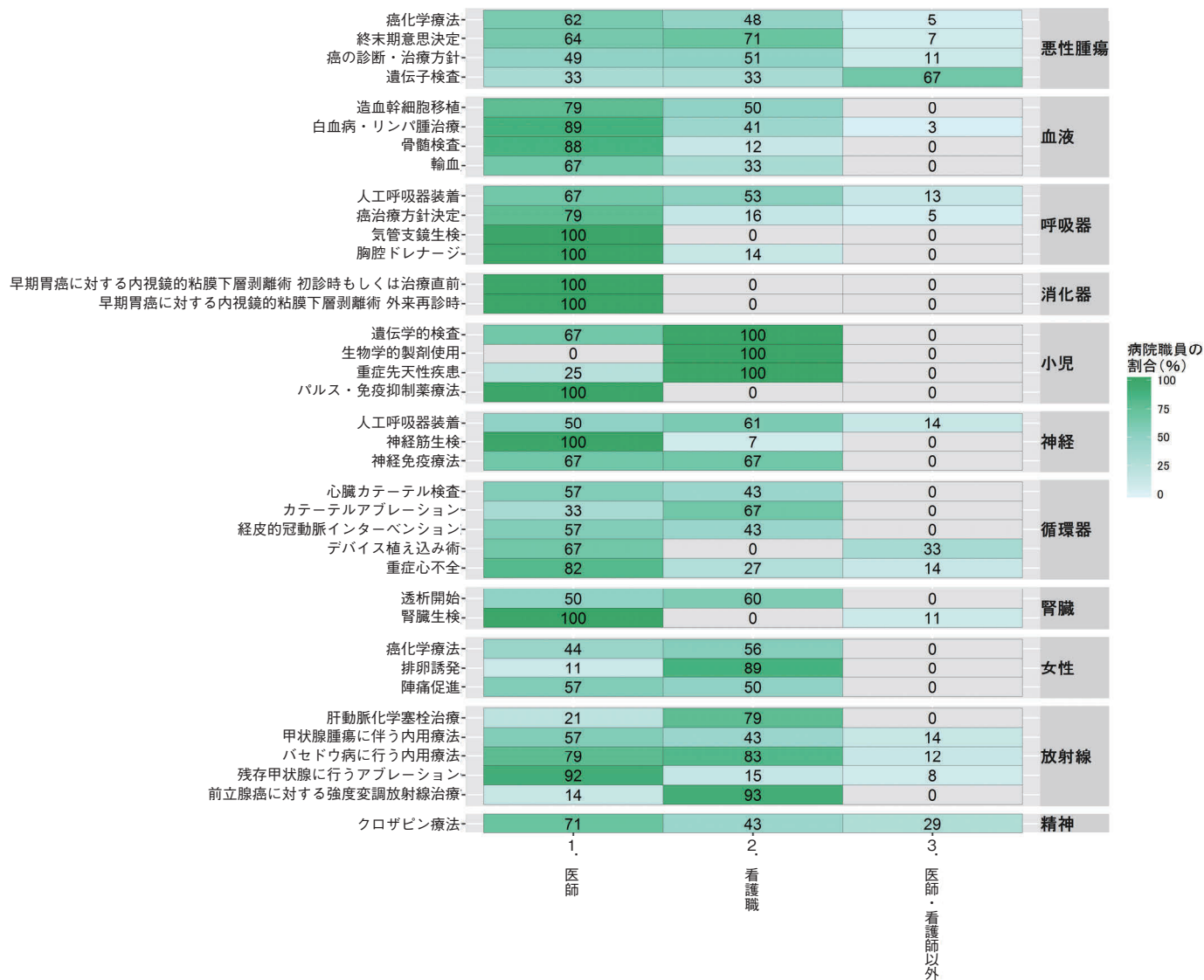
IC手術項目	IC手術項目別 説明を受けた人の割合(%) (※問6-1~7のいずれかに記載があった症例に対する、 各説明を受けた人の割合)						IC手術項目	受けた人の割合(%)
	1. 患者のみ	2. 配偶者	3. 親	4. 子供	5. 親戚	6. 友人・その他		
癌化学療法	35	49	10	21	7	1	悪性腫瘍	
終末期意思決定	11	68	5	37	11	5		
癌の診断・治療方針	30	54	6	23	6	1		
遺伝子検査	48	24	16	16	4	4		
造血幹細胞移植	11	47	26	11	21	5	血液	
白血病・リンパ腫治療	15	57	23	25	19	2		
骨髄検査 輸血	52 55	19 28	10 14	19 3	14 0	0 0		
人工呼吸器装着	5	53	16	37	16	0	呼吸器	
癌治療方針決定	21	56	0	40	7	0		
気管支鏡生検	62	27	0	12	0	2		
胸腔ドレナージ	54	23	15	8	0	0		
早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術 初診時もしくは治療直前	40	55	0	8	2	2	消化器	
早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術 外来再診時	44	44	0	9	6	0		
遺伝学的検査	0	12	88	0	0	0	小児	
生物学的製剤使用	11	0	89	6	0	0		
重症先天性疾患	0	0	100	0	6	0		
パルス・免疫抑制薬療法	0	0	100	11	22	0		
人工呼吸器装着	13	53	16	47	13	0	神経	
神経筋生検	63	19	11	11	0	0		
神経免疫療法	53	40	0	13	7	0		
心臓カテーテル検査	38	41	9	12	9	6	循環器	
カテーテルアブレーション	29	55	5	19	2	0		
経皮的冠動脈インターベンション	33	41	7	19	7	0		
デバイス植え込み術	11	37	5	53	11	11		
重症心不全	11	49	32	32	16	0		
透析開始	62	24	5	24	0	0	腎臓	
血漿交換療法	100	0	0	0	0	0		
腎臓生検	71	25	4	0	0	0		
癌化学療法	0	83	4	9	9	4	女性	
排卵誘発	59	36	5	0	0	0		
陣痛促進	42	58	0	0	0	0		
CTガイド下肺生検	100	0	0	0	0	0	放射線	
肝動脈化学塞栓治療	57	38	0	5	0	0		
腹部動脈塞栓術	50	50	0	50	0	0		
甲状腺腫瘍に伴う内用療法	45	38	10	12	2	0		
パセドウ病を行う内用療法	74	9	18	0	0	0		
残存甲状腺を行うアブレーション	49	36	5	8	3	0		
前立腺癌に対する強度変調放射線治療	54	40	0	17	0	0		
クロザピン療法	12	4	62	0	35	0	精神	

2-15. (問 6-8) 説明を受けた患者側の人数の構成割合



2-16. (問7) 補助説明を行った病院職員の割合

IC手続項目別 補助説明を行った職種別の割合(%)
IC手続項目 (※補助説明を行った病院職員のいずれかを1人以上と回答した症例に対する各職種の割合)



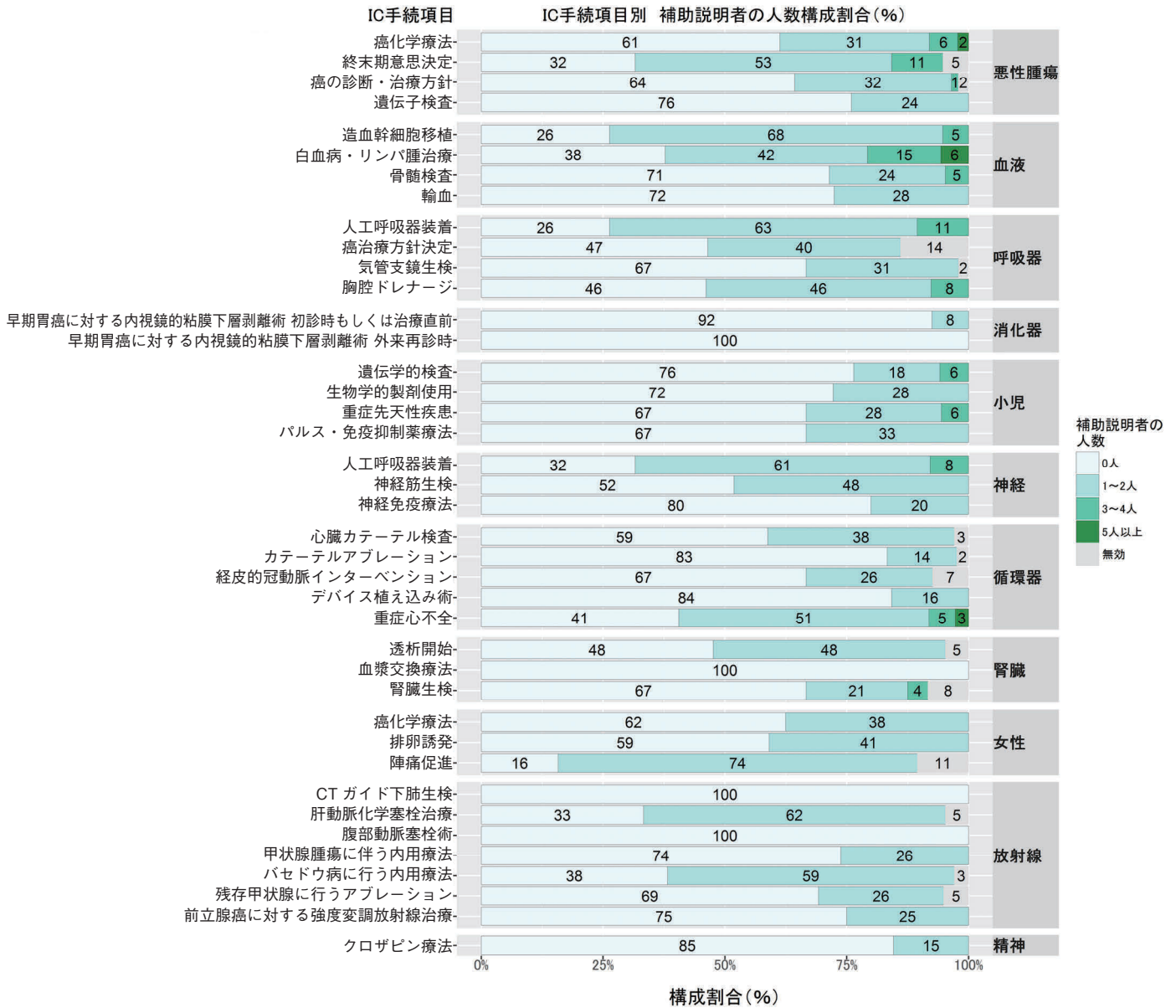
補助説明を行った病院職員

2-17. (問 7-2) 補助説明に従事した看護師の主な資格³

領域	IC 手続項目	看護師の資格	件数
悪性腫瘍	癌化学療法	がん化学療法看護認定看護師	4
悪性腫瘍	終末期意思決定	緩和ケア認定看護師	1
悪性腫瘍	癌の診断・治療方針	がん化学療法看護認定看護師	4
血液	白血病・リンパ腫治療	がん性疼痛看護認定看護師	1
呼吸器	癌治療方針決定	がん看護専門看護師	3
小児	生物学的製剤使用	糖尿病療養指導士	2
小児	重症先天性疾患	助産師	11
神経	人工呼吸器装着	難病看護師	1
循環器	心臓カテーテル検査	心臓リハビリテーション指導士	1
女性	排卵誘発	不妊症看護認定看護師	8
女性	陣痛促進	助産師	2
放射線	前立腺癌に対する強度変調放射線治療	がん放射線療法看護認定看護師	4

³ 自由記載に伴う表記の揺れは統一している。また、本設問項目（問 7-3）は非必須回答項目であるため、本調査で実際に補助説明を実施した看護師の資格のすべてを網羅するものではない。同様に、表の「件数」は、本調査で実際に当該資格の看護師が補助説明を行ったすべての症例数を表すものではない。

2-18. (問 7-4) 補助説明者の人数の構成割合

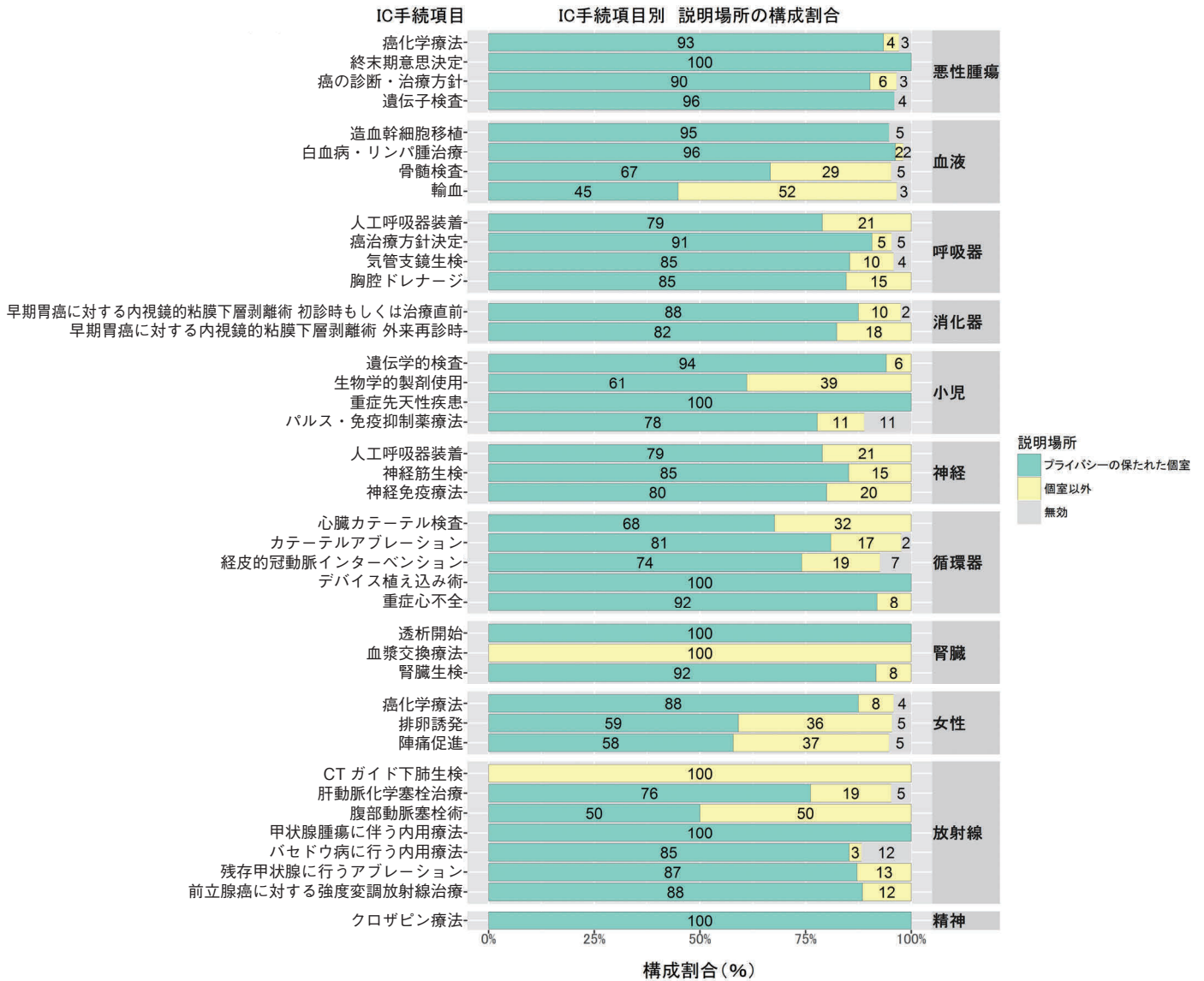


2-19. (問 8) IC 手続き実施者もしくは補助説明者以外で IC 手続きに関わった職員の職種および割合⁴

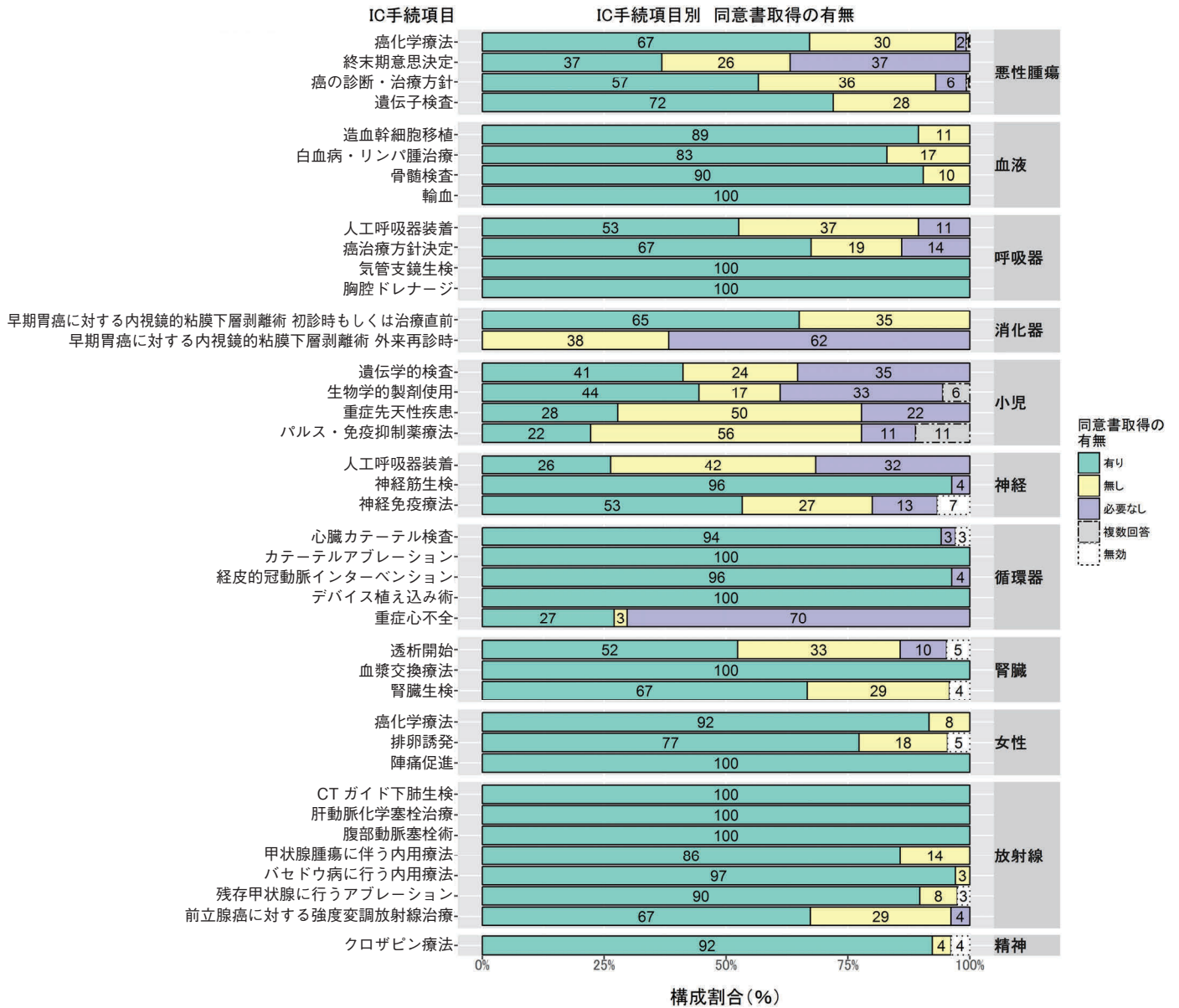
IC 手続項目別	説明した医師以外に関与した病院職員の有無および職種の割合(%) (※職種の記事があった症例に限る)										
IC 手続項目	医師	看護職員	事務職員	医療秘書	医療ソーシャルワーカー	遺伝カウンセラー	栄養士・管理栄養士	治療コーディネーター	その他	職種の記事があった症例に占める各職種の割合(%)	
癌化学療法	59	32	18	0	0	0	0	0	5	悪性腫瘍	
終末期意思決定	67	33	0	0	0	0	0	0	0		
癌の診断・治療方針	33	30	33	4	0	0	0	0	7		
遺伝子検査	0	33	0	0	0	67	0	0	0		
造血幹細胞移植	100	12	0	0	0	0	0	0	0	血液	
白血病・リンパ腫治療	100	25	0	0	0	0	0	0	0		
骨髄検査	100	0	0	0	0	0	0	0	0		
輸血	0	100	100	0	0	0	0	0	0		
人工呼吸器装着	33	100	0	0	33	0	0	0	0	呼吸器	
癌治療方針決定	75	25	0	0	0	0	0	0	0		
気管支鏡生検	100	0	0	0	0	0	0	0	0		
胸腔ドレナージ	100	0	0	0	0	0	0	0	0		
遺伝学的検査	0	100	0	0	0	0	0	0	0	小児	
生物学的製剤使用	50	50	0	0	0	0	0	0	0		
重症先天性疾患	0	100	0	0	0	0	0	0	0		
パルス・免疫抑制薬療法	100	0	0	0	0	0	0	0	0		
人工呼吸器装着	60	60	0	0	40	0	0	0	0	神経	
神経筋生検	67	33	0	0	0	0	0	0	0		
神経免疫療法	0	100	0	0	67	0	0	0	0		
心臓カテーテル検査	20	60	0	0	0	0	0	0	40	循環器	
カテーテルアブレーション	0	80	0	0	0	0	0	0	20		
経皮的冠動脈インターベンション	100	0	0	0	0	0	0	0	0		
デバイス植込み術	50	100	0	0	0	0	0	0	0		
重症心不全	50	60	0	0	0	0	0	0	20		
透析開始	0	100	0	0	0	0	0	0	0	腎臓	
癌化学療法	92	38	0	0	0	0	0	0	0	女性	
排卵誘発	100	0	0	0	0	0	0	0	0		
陣痛促進	100	0	0	0	0	0	0	0	0		
肝動脈化学塞栓治療	0	50	0	25	0	0	0	0	25	放射線	
腹部動脈塞栓術	0	100	0	0	0	0	0	0	0		
甲状腺腫瘍に伴う内用療法	0	29	75	0	0	0	0	0	0		
パセドウ病を行う内用療法	0	50	50	0	0	0	0	0	0		
残存甲状腺を行うアブレーション	0	6	89	0	0	6	0	0	0		
前立腺癌に対する強度変調放射線治療	0	92	23	0	0	0	0	0	0		
クロザピン療法	0	0	0	0	0	0	0	100	0		

⁴ 自由記載に伴う表記の揺れは統一している。なお、クロス集計表の各セルの分母は、問 8 (非必須回答項目) において病院職員の職種の記載があった IC 手続項目別の症例数である。

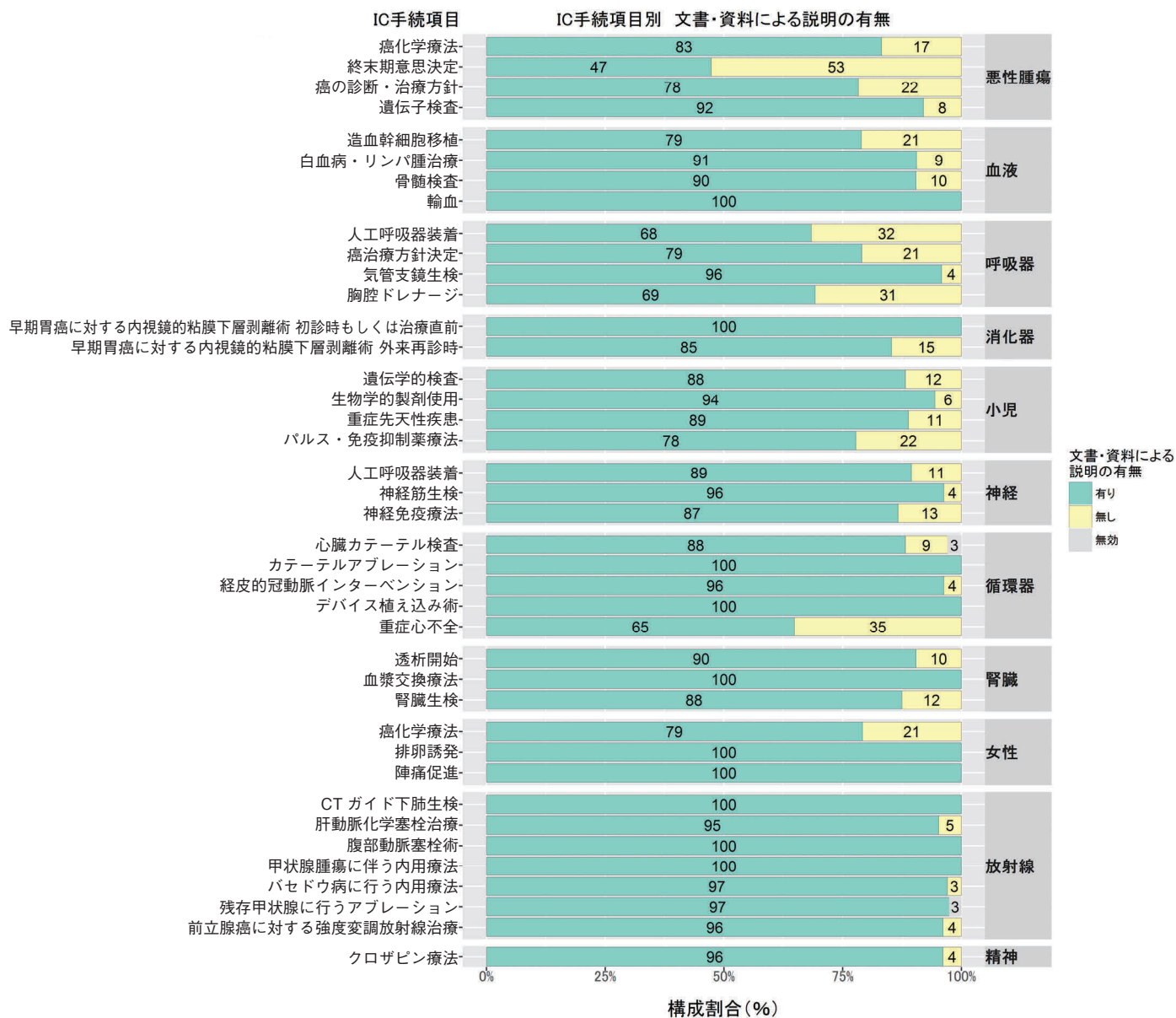
2-20. (問9) 説明場所の構成割合



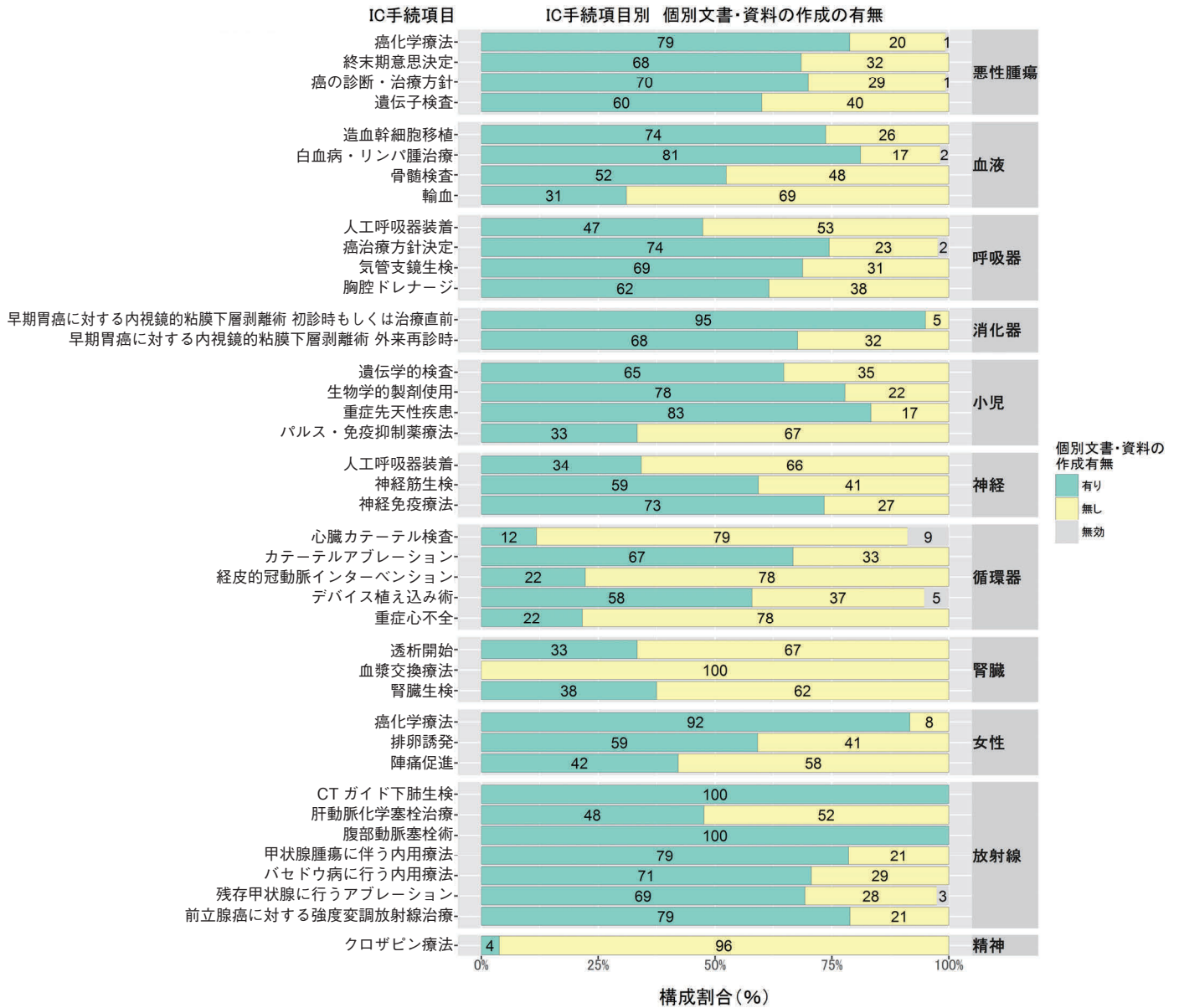
2-21. (問 10) 同意書取得有無別の構成割合



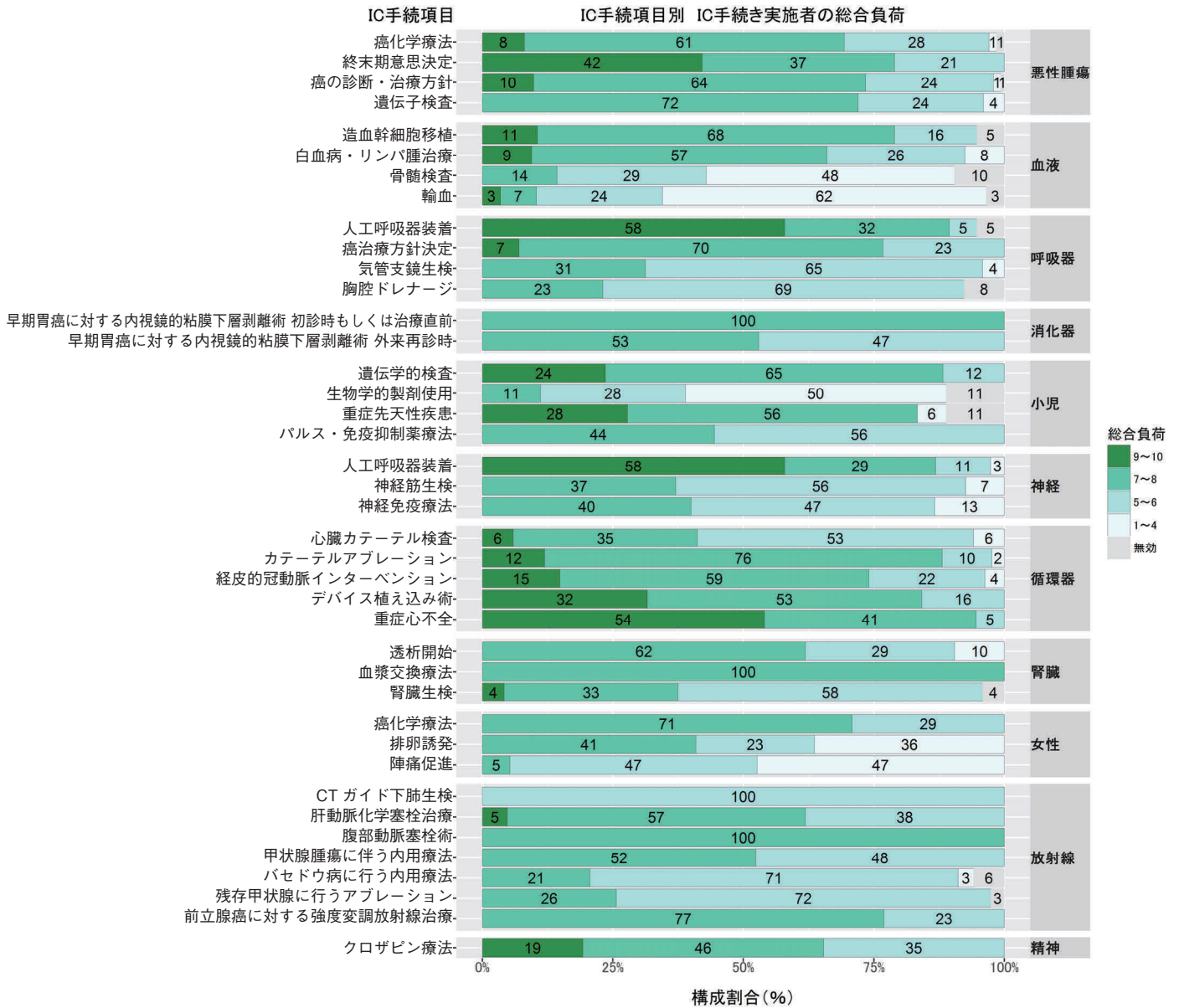
2-22. (問 11) 文書・資料による説明の有無別構成割合



2-23. (問 12) 個別文書・資料作成の有無別構成割合



2-24. (問 13) IC 手続き実施者の総合負荷



2-25. (問 13) IC 手続き実施者の難易度

